

富富富 管理特報

令和 7 年 6 月 9 日

JAみな穂「富富富」ブランド化推進協議会

1 JAみな穂管内の富富富の生育状況（6/3現在）

富富富の生育は葉令がやや遅れており、葉色は淡めとなっていますが、茎数は平年並みに増加しています。

表 JAみな穂 富富富 基礎ほ （4か所平均）

	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/株)	茎数 (本/m ²)	葉令	葉色
R7	5/14	21.3	7.3	163	5.4	3.9
前年	5/14	25.1	6.7	140	5.4	4.0
平年	5/14	24.8	8.7	177	5.8	4.2

2 今後の管理

経営体によって田植日が異なることから、稲の生育状況に応じて適切な管理を実施しましょう。

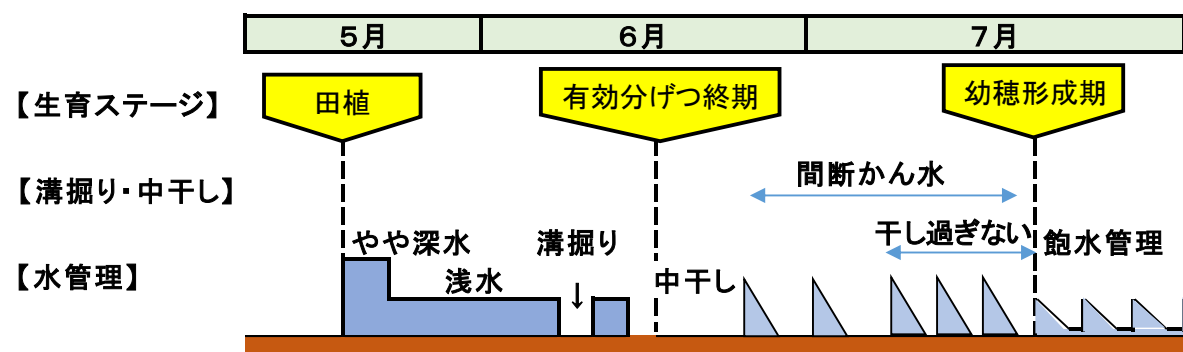
- 中干しまでの水管理は、水深2～3cmの浅水管理を徹底し、分げつの発生を促進しましょう。
- 田がわいている場合は軽い田干しを、藻が発生している場合は水の入れ替えを行いましょう。
- 中干しに入る前に止水・落水し、適度な土壌硬度を確保した上で、溝掘りを行いましょう。
- 中干しは田植後4週間頃から実施しましょう。
5～7日程度行い田面に小さな亀裂が入り、足跡が残る程度まで干しましょう。
- 中干し後の水管理は、幼穂形成期まで間断かん水を行いましょう。
- 出穂の1か月前（7月5日頃）から基肥一発肥料の穂肥成分が溶出するため、この時期からは落水期間を短めとし、地表面を乾燥させないようにしましょう。

【中干し開始の目安】

田植日	中干し開始日
5月10日	6月7日頃
5月15日	6月12日頃
5月20日	6月17日頃

【富富富の幼穂形成期と出穂期の目安】

田植え 5月14日 → 幼穂形成期 7月14日頃 → 出穂期 8月6日頃



本格作付け8年目！高品質で美味しい「富富富」ブランドの確立！

3 中・後期剤の散布

富富富は流通基準で、病害虫・雑草防除に使用する化学合成農薬の成分は『合計12以内』と定められているため、中・後期除草剤は極力使用しないでください。ただし、中干し後に雑草の発生が多い場合は、草種と葉齢に合わせて、除草剤を散布しましょう。使用する際には、振興センター又は営農指導員に相談してください。

対象雑草	農薬名	散布時期	10aあたり散布量	成分数	使用回数
ノビエ	トドメMF1キロ粒剤（湛水散布）	田植後14日～ノビエ5葉期（収穫50日前まで）	1kg	1	3回以内
ノビエ 広葉雑草	トドメバスMF液剤（落水散布またはごく浅く湛水して散布）	田植後15日～ノビエ6葉期（収穫50日前まで）	1000mL 〔希釈水量 70～100L〕	2	2回以内
	ロイヤント乳剤（落水散布またはごく浅く湛水散布）	田植後20日～ノビエ5葉期（収穫45日前まで）	200mL 〔希釈水量 100L〕	1	2回以内
広葉雑草	バサグラン粒剤（落水散布）	田植後15～50日（収穫45日前まで）	3～4kg	1	1回
	バイスコープ1キロ粒剤（湛水散布またはごく浅い湛水散布）	田植後14～60日（収穫45日前まで）	1kg	2	1回

※ロイヤント乳剤は土壌水分が少ないと効果が十分発揮されない場合があるため、落水状態で散布した場合は、散布後3日以内に入水しましょう。また、周辺の大豆ほ場に飛散しないよう注意しましょう。

※苗箱施薬剤にアレスモンガレス箱粒剤（成分2）を使用した場合はフェルテラ箱粒剤（成分1）と比べ、化学農薬の成分数が1カウント多くなるので、出穂期以降の病害虫防除を想定しながら、除草剤を使用しましょう。

【12成分の事例】

	種子消毒	苗箱施薬	除草剤			本田防除	
例1	テクリードCフロアブル	アレスモンガレス箱粒剤	かねつぐ1キロ粒剤	プライオリティ1キロ粒剤	トドメMF1キロ粒剤	スタークル液剤10＋モンカットフロアブル	ラブサイドK2フロアブル
成分	1	2	2	2	1	2	2
例2	テクリードCフロアブル	フェルテラ箱粒剤	かねつぐ1キロ粒剤	プライオリティ1キロ粒剤	トドメバスMF液剤	スタークル液剤10＋モンカットフロアブル	ラブサイドK2フロアブル
成分	1	1	2	2	2	2	2

★JAみな穂では営農情報を配信しています。
・営農メール：水稻栽培情報、気象・災害情報
・LINE：稲作管理特報などの各種特報
※右のQRコードを読み込み、案内に沿って手続きして下さい。

営農メール



LINE

